

私たちの町と、今とこれから

1年3組

●今の私たちの町

3月11日の太平洋東日本大地震によって私たちの町はすっかり変わってしまいました。高台にあったはずの私の家はフローリングのみを残して全てどこかへ行ってしまいました。国道45号線沿いにあった店は骨組みさえも残っていませんでした。登下校に使っていた道や小学生と遊んだ公園も前が何だったのか分からなくなるくらい変わってびっくりしました。夕方、一人で散歩してみると、いつもなら人の声、車の音、商店街の音楽が聞こえてくるはずの駅前が無音になっていました。音がないということがあんなにも怖いことだとは思ってもみませんでした。だんだんと片付いてきてはいますが、まだまだ瓦礫はたくさん残っています。町を歩くたびにその瓦礫の中に誰かが使っていたはずの靴やアルバムなどを見つけて胸が痛くなります。

できることなら、私たちの町『陸前高田』が以前のように元気さや明るさを早く取り戻して、みんなが笑顔になればいいのになと思います。私も高田町の住人の一人です。高校生である私にできることといっても限られてはいますが、高田がいち早く復興できるように自分ができることを見つけて積極的にしていきたいです。これから頑張ります。

<写真1>



・撮影日時 平成23年6月6日

・撮影場所 高田の町

・コメント 6月になってもまだ片づけが全然進んでいない。早く震災前の明るい高田に戻ってほしい。

<写真2>



・撮影日時 平成23年6月6日

・撮影場所 消防署前

・コメント いつも私たちを守ってくれた消防署も3月11日の津波によって被災した。

●これからの自分

今回の太平洋東日本大地震によって多くの人々が家族を失いました。私の家族は無事でしたが、周りでも亡くなられた方がたくさんいます。こんなに多くの方が亡くなっているのに、きっといつか「過去のこと」になってしまうと思います。私は忘れたくありません。しっかりと胸に刻んでおこうと思います。命の重さ、大切さ、支えあうことの重要さ、この震災によって私は色々なことを学びました。奇跡的に生き残っている私は、この震災を忘れず、亡くなった方の分まで精一杯生きていかななくてはいけないと思います。勉強も部活も一日一日を大切に一生懸命取り組みたいと思います。

また、私が今普通に生活して、普通に学校に通えているのは、たくさんの人々の支えがあるからです。支えてくれる全国の方々に感謝しながら頑張って勉強していつかは恩返しができたらいいなと思っています。今の自分にできることは本当に少ないのですが、高校生である3年間、勉強を頑張りながら高田のために、東北のために、自分にできることを精一杯やっていくつもりです。高田や東北、被災地の早い復興を願いながら、これから私も私なりに色々なことを頑張っていきたいです。